

2010 年度（平成 22 年度）入学試験第 2 次選抜試験（小論文試験）

次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

【文章省略】

下記論文の文章を示し、以下のように出典等の記載を付した。

出典：大村敦志「としょかんライオン考——子どもとともに法を考える」  
ジュリスト 1353 号 20 頁（2008）より。出題の都合上、小見出しを削除  
し、注と絵を省略した。

問題

設問 1 筆者は文中において「きまり」をどのようにとらえているのか。①「きまり」がなぜあるのか、②「きまり」があれば何でも解決するのか、③「きまり」がないときにはどうすべきか、という諸点を踏まえつつ、800 字以内で答えよ。

設問 2 小学生に対する法教育はどのような意義を持つのだろうか。筆者の見解を踏まえて、1200 字以内であなたの考えを述べよ。